

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置								
フリガナ	ガッコウホウジン トウキョウリカダイガク								
設置者	学校法人 東京理科大学								
フリガナ	トウキョウリカダイガクダイガクイン								
大学の名称	東京理科大学大学院 (Tokyo University of Science Graduate School)								
大学本部の位置	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地								
大学の目的	修士課程は、広い視野に立って、精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とする。 博士後期課程及び薬学研究科薬学専攻博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。 専門職学位課程は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を養うことを目的とする。								
新設学部等の目的	修士課程においては、基礎物理およびその工学的応用に関する分野の垣根を越えた教育研究を行うことで、社会を変革するイノベーション創出に貢献でき、社会的倫理観、国際的視野、そして新しい学問および産業の芽を興すことに挑戦する高い志を持った研究者・技術者を育成する。 博士後期課程においては、基礎物理およびその工学的応用に関する分野の垣根を越えた高度な教育研究を行うことで、社会を変革するイノベーション創出を主体的に行うことができ、社会的・国際的に高い指導的立ち位置から、新しい学問および産業を興すことのできる研究者・技術者を育成する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	基礎となる学部等 先進工学部物理工学科
	先進工学研究科 【Graduate School of Advanced Engineering】	年	人	年次 人	人		年月 第 年次		
	物理学専攻【博士前期 課程(修士課程)】 【[Department of Applied Physics (Master Course)]】	2	50	—	100	修士(工学) 【Master of Engineering】	令和5年4月 第1年次	東京都葛飾区新宿6-3-1	
	物理学専攻【博士後期 課程】 【[Department of Applied Physics (Doctor Course)]】	3	3	—	9	博士(工学) 【Doctor of Engineering】	令和5年4月 第1年次	東京都葛飾区新宿6-3-1	
	計		53	—	109				
同一設置者内における 変更状況 (定員の移行、 名称の変更等)	<p>&lt;東京理科大学&gt;</p> <p>1. 学生募集停止 (令和5年4月) (令和4年7月報告予定)</p> <p>理学部第一部 応用物理学科 (廃止) (△120)</p> <p>2. 入学定員変更予定 (令和5年4月)</p> <p>理学部第一部</p> <p>数学科 [定員減] 120人 → 115人 (△5)</p> <p>物理学科 [定員減] 120人 → 115人 (△5)</p> <p>化学科 [定員減] 120人 → 115人 (△5)</p> <p>理工学部</p> <p>数学科 [定員減] 120人 → 90人 (△30)</p> <p>物理学科 [定員減] 120人 → 100人 (△20)</p> <p>応用生物科学科 [定員減] 120人 → 110人 (△10)</p> <p>電気電子情報工学科 [定員減] 160人 → 150人 (△10)</p> <p>経営工学科 [定員減] 120人 → 110人 (△10)</p> <p>機械工学科 [定員増] 120人 → 130人 ( 10)</p> <p>土木工学科 [定員減] 120人 → 110人 (△10)</p> <p>先進工学部</p> <p>電子システム工学科 [定員減] 120人 → 115人 (△5)</p> <p>マテリアル創成工学科 [定員減] 120人 → 115人 (△5)</p> <p>生命システム工学科 [定員減] 120人 → 115人 (△5)</p> <p>3. 学科設置予定 (令和5年4月) (令和4年4月届出予定)</p> <p>先進工学部 物理工学科 (115)</p> <p>先進工学部 機能デザイン工学科 (115)</p>								

同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	4. 名称変更予定 (令和5年4月) (令和4年4月届出予定) 理工学部 → 創域理工学部 理工学部 数学科 → 数理科学科 物理学科 → 先端物理学科 情報科学科 → 情報計算科学科 応用生物科学科 → 生命生物科学科 経営工学科 → 経営システム工学科 機械工学科 → 機械航空宇宙工学科 土木工学科 → 社会基盤工学科  <東京理科大学大学院> 1. 学生募集停止 (令和5年4月) (令和4年7月報告予定) 理学研究科 応用物理学専攻 [博士前期課程 (修士課程)] (△40) 理学研究科 応用物理学専攻 [博士後期課程] (△3) 2. 名称変更予定 (令和5年4月) (令和4年4月届出予定) 理工学研究科 → 創域理工学研究科 理工学研究科 数学専攻 → 数理科学専攻 物理学専攻 → 先端物理学専攻 情報科学専攻 → 情報計算科学専攻 応用生物科学専攻 → 生命生物科学専攻 電気工学専攻 → 電気電子情報工学専攻 経営工学専攻 → 経営システム工学専攻 機械工学専攻 → 機械航空宇宙工学専攻 土木工学専攻 → 社会基盤工学専攻								
	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
教育課程	新設学部等の名称	講義	演習	実験・実習	計				
	先進工学研究科 物理学専攻 [博士前期課程 (修士課程)]	49科目	6科目	0科目	55科目	30単位			
	先進工学研究科 物理学専攻 [博士後期課程]	31科目	7科目	0科目	38科目	34単位			
教 員 組 織 の 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	新設分	先進工学研究科 物理学専攻 [博士前期課程 (修士課程)]	6 (6)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	25 (25)
		先進工学研究科 物理学専攻 [博士後期課程]	5 (5)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	24 (24)
		計	6 (6)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	— (—)
	既設分	理学研究科 数学専攻 [博士前期課程 (修士課程)]	9 (9)	3 (3)	3 (3)	8 (8)	23 (23)	0 (0)	15 (15)
		理学研究科 数学専攻 [博士後期課程]	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	15 (15)
		理学研究科 物理学専攻 [博士前期課程 (修士課程)]	16 (16)	3 (3)	2 (2)	10 (10)	31 (31)	0 (0)	9 (9)
		理学研究科 物理学専攻 [博士後期課程]	16 (16)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	9 (9)
		理学研究科 化学専攻 [博士前期課程 (修士課程)]	19 (19)	7 (7)	6 (6)	16 (16)	48 (48)	0 (0)	9 (9)
		理学研究科 化学専攻 [博士後期課程]	19 (19)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	25 (25)	0 (0)	9 (9)
		理学研究科 応用数学専攻 [博士前期課程 (修士課程)]	7 (7)	5 (5)	3 (3)	4 (4)	19 (19)	0 (0)	12 (12)
		理学研究科 応用数学専攻 [博士後期課程]	7 (7)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	12 (12)
理学研究科 科学教育専攻 [博士前期課程 (修士課程)]		17 (17)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	20 (20)	0 (0)	10 (10)	
理学研究科 科学教育専攻 [博士後期課程]	15 (15)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	10 (10)		

様式第2号(その1の1)

	学部等の名称	専任教員等						兼任 教員等	備考
		教授	准教授	講師	助教	計	助手		
教 員 組 織 の 概 要	薬学研究科 薬学専攻 [博士課程]	14 (14)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	0 (0)	
	薬学研究科 薬科学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	11 (11)	5 (5)	6 (6)	6 (6)	28 (28)	0 (0)	0 (0)	
	薬学研究科 薬科学専攻 [博士後期課程]	10 (10)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	
	工学研究科 建築学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	11 (11)	2 (2)	2 (2)	5 (5)	20 (20)	0 (0)	44 (44)	
	工学研究科 建築学専攻 [博士後期課程]	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	44 (44)	
	工学研究科 工業化学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	6 (6)	5 (5)	2 (2)	4 (4)	17 (17)	0 (0)	18 (18)	
	工学研究科 工業化学専攻 [博士後期課程]	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	18 (18)	
	工学研究科 電気工学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	11 (11)	4 (4)	0 (0)	3 (3)	18 (18)	0 (0)	20 (20)	
	工学研究科 電気工学専攻 [博士後期課程]	10 (10)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	20 (20)	
	工学研究科 情報工学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	7 (7)	5 (5)	1 (1)	5 (5)	18 (18)	0 (0)	24 (24)	
	工学研究科 情報工学専攻 [博士後期課程]	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	24 (24)	
	工学研究科 機械工学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	8 (8)	3 (3)	1 (1)	3 (3)	15 (15)	0 (0)	24 (24)	
	工学研究科 機械工学専攻 [博士後期課程]	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	24 (24)	
	創域理工学研究科 数理科学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	8 (8)	6 (6)	2 (2)	5 (5)	21 (21)	0 (0)	2 (2)	令和4年4月名称変更届出 (予定) (創域理工学研究科、数理解 科学専攻、先端物理学専 攻、情報計算科学専攻、生 命生物科学専攻、電気電 子情報工学専攻、経営シ ステム工学専攻、機械航空 宇宙工学専攻、社会基盤 工学専攻)
	創域理工学研究科 数理科学専攻 [博士後期課程]	8 (8)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	2 (2)	
	創域理工学研究科 先端物理学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	10 (10)	3 (3)	0 (0)	4 (4)	17 (17)	0 (0)	0 (0)	
	創域理工学研究科 先端物理学専攻 [博士後期課程]	10 (10)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	
	創域理工学研究科 情報計算科学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	6 (6)	4 (4)	5 (5)	5 (5)	20 (20)	0 (0)	2 (2)	
	創域理工学研究科 情報計算科学専攻 [博士後期課程]	6 (6)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	2 (2)	
	創域理工学研究科 生命生物科学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	7 (7)	7 (7)	2 (2)	6 (6)	22 (22)	0 (0)	0 (0)	
	創域理工学研究科 生命生物科学専攻 [博士後期課程]	6 (6)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	
	創域理工学研究科 建築学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	9 (9)	2 (2)	1 (1)	8 (8)	20 (20)	0 (0)	18 (18)	
	創域理工学研究科 建築学専攻 [博士後期課程]	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	18 (18)	
	創域理工学研究科 先端化学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	11 (11)	5 (5)	4 (4)	4 (4)	24 (24)	0 (0)	14 (14)	
	創域理工学研究科 先端化学専攻 [博士後期課程]	11 (11)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	14 (14)	
	創域理工学研究科 電気電子情報工学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	11 (11)	7 (7)	0 (0)	5 (5)	23 (23)	0 (0)	9 (9)	
	創域理工学研究科 電気電子情報工学専攻 [博士後期課程]	11 (11)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	9 (9)	

様式第2号(その1の1)

	学部等の名称	専任教員等						兼任 教員等	備考
		教授	准教授	講師	助教	計	助手		
教 員 組 織 の 概 要	創域理工学研究科 経営システム工学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	6 (6)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	1 (1)	
	創域理工学研究科 経営システム工学専攻 [博士後期課程]	6 (6)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	
	創域理工学研究科 機械航空宇宙工学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	11 (11)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	18 (18)	0 (0)	6 (6)	
	創域理工学研究科 機械航空宇宙工学専攻 [博士後期課程]	11 (11)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	6 (6)	
	創域理工学研究科 社会基盤工学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	10 (10)	2 (2)	0 (0)	5 (5)	17 (17)	0 (0)	2 (2)	
	創域理工学研究科 社会基盤工学専攻 [博士後期課程]	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	2 (2)	
	創域理工学研究科 国際火災科学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	5 (5)	
	創域理工学研究科 国際火災科学専攻 [博士後期課程]	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	5 (5)	
	先進工学研究科 電子システム工学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	
	先進工学研究科 電子システム工学専攻 [博士後期課程]	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	
	先進工学研究科 マテリアル創成工学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	12 (12)	4 (4)	1 (1)	6 (6)	23 (23)	0 (0)	1 (1)	
	先進工学研究科 マテリアル創成工学専攻 [博士後期課程]	11 (11)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	1 (1)	
	先進工学研究科 生命システム工学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	7 (7)	5 (5)	2 (2)	4 (4)	18 (18)	0 (0)	0 (0)	
	先進工学研究科 生命システム工学専攻 [博士後期課程]	7 (7)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	
	経営学研究科 経営学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	19 (19)	8 (8)	10 (10)	4 (4)	41 (41)	0 (0)	3 (3)	
	経営学研究科 経営学専攻 [博士後期課程]	18 (18)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	3 (3)	
	経営学研究科 技術経営専攻 [専門職学位課程]	10 (10)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	7 (7)	
	生命科学研究科 生命科学専攻 [博士前期課程(修士課程)]	8 (8)	4 (4)	3 (3)	7 (7)	22 (22)	0 (0)	2 (2)	
	生命科学研究科 生命科学専攻 [博士後期課程]	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	2 (2)	
	教養教育研究院	41 (41)	39 (39)	20 (20)	4 (4)	104 (104)	0 (0)	0 (0)	
計	338 (338)	155 (155)	82 (82)	137 (137)	712 (712)	0 (0)	- (-)		
合計	344 (344)	160 (160)	82 (82)	137 (137)	723 (723)	0 (0)	- (-)		
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種	専 任		兼 任		計		備考	
	事 務 職 員	人		人		人			
		407 (407)		298 (298)		705 (705)			
	技 術 職 員	35 (35)		0 (0)		35 (35)			
	図 書 館 専 門 職 員	1 (1)		0 (0)		1 (1)			
	そ の 他 の 職 員	51 (51)		13 (13)		64 (64)			
計	494 (494)		311 (311)		805 (805)				

様式第2号(その1の1)

区分		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計			
校 地 等	校舎敷地	369,442.69 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	369,442.69 m <sup>2</sup>	大学全体 (葛飾図書館棟敷地) ・面積 5,454.42 m <sup>2</sup> ・期間 2023年3月31日 まで (野田運動場敷地) ・面積 1,391.00 m <sup>2</sup> ・期間 2031年9月10日 まで		
	運動場用地	401,176.21 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	401,176.21 m <sup>2</sup>			
	小計	770,618.90 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	770,618.90 m <sup>2</sup>			
	その他	35,130.74 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	35,130.74 m <sup>2</sup>			
	合計	805,749.64 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	805,749.64 m <sup>2</sup>			
	校舎	専用 309,557.56 m <sup>2</sup>  (309,557.56 m <sup>2</sup> )	共用 0 m <sup>2</sup>  (0 m <sup>2</sup> )	共用する他の学校等の専用 0 m <sup>2</sup>  (0 m <sup>2</sup> )	計 309,557.56 m <sup>2</sup>  (309,557.56 m <sup>2</sup> )		大学全体 【借用建物】 (神楽坂・富士見校舎) ・面積 7,345.60 m <sup>2</sup> ・期間 2036年4月30日 まで (神楽坂・双葉実業ビル) ・面積 1,308.30 m <sup>2</sup> ・期間 2023年5月11日 まで (神楽坂・12号館) ・面積 331.81 m <sup>2</sup> ・期間 2028年3月31日 まで (神楽坂・10号館別館2) ・面積 291.85 m <sup>2</sup> ・期間 2031年6月30日 まで	
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	225室	163室	668室	13 (補助職員 6人)	2室 (補助職員 0人)			
専任教員研究室	新設学部等の名称			室数				
	先進工学研究科 物理学専攻 【博士前期課程(修士課程)】			11室				
	先進工学研究科 物理学専攻 【博士後期課程】			10室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 (うち外国書) 冊	学術雑誌 (うち外国書) 種	電子ジャーナル (うち外国書) 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数
	先進工学研究科 物理学専攻	888,936[290,304] (888,936[290,304])	15,693[13,913] (15,693[13,913])	9,963[9,941] (9,963[9,941])	5,859 (5,859)	558 (558)	0 (0)	
	計	888,936[290,304] (888,936[290,304])	15,693[13,913] (15,693[13,913])	9,963[9,941] (9,963[9,941])	5,859 (5,859)	558 (558)	0 (0)	
図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数			
	11,061 m <sup>2</sup>		2,152		719,388			
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	10,094.86 m <sup>2</sup>		テニスコート 13面		柔道場 2面			
			野球場 2面		ラグビー場 1面			
			ソフトボール場 3面		サッカー場 2面			
			洋弓場 1面		弓道場 1面			
			剣道場 1面		屋外ゴルフ場 1面			
トラック 2面			多目的グラウンド 1面					

様式第2号(その1の1)

経費の見積り及び維持方法の概要	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	「図書購入費」には電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト）を含む。	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	教授		500千円	500千円	500千円				
			准教授		500千円	500千円	500千円				
			講師		500千円	500千円	500千円				
			助教		500千円	500千円	500千円				
			助手		一千円	一千円	一千円				
	共同研究費等										
	図書購入費		1,442千円	1,442千円	1,442千円	1,442千円	一千円	一千円	一千円		
	設備購入費		2,360千円	2,360千円	2,360千円	2,360千円	一千円	一千円	一千円		
	学生1人当り納付金(修士課程)		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
先進工学研究科 物理学専攻 [博士前期課程 (修士課程)]		1,300千円	1,100千円	一千円	一千円	一千円	一千円				
先進工学研究科 物理学専攻 [博士後期課程]		1,000千円	800千円	800千円	一千円	一千円	一千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、寄付金収入、補助金収入、資産運用収入により維持運営する。								

既設大学等の状況	大学の名称		東京理科大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考
		年	人	年次人	人		倍			
	理学部第一部						0.96			
	数学科	4	120	—	480	学士（理学）	0.93	昭和24年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	
	物理学科	4	120	—	480	学士（理学）	0.95	昭和24年度		
	化学科	4	120	—	480	学士（理学）	1.00	昭和24年度		
	応用数学科	4	120	—	480	学士（理学）	0.94	昭和36年度		
	応用物理学科	4	120	—	480	学士（理学）	0.98	昭和35年度		東京都葛飾区新宿6丁目3番1号
	応用化学科	4	120	—	480	学士（理学）	0.96	昭和34年度		東京都新宿区神楽坂一丁目3番地
	理学部第二部						0.95			
	数学科	4	120	—	480	学士（理学）	1.00	昭和24年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	
	物理学科	4	120	—	480	学士（理学）	0.91	昭和24年度		
	化学科	4	120	—	480	学士（理学）	0.95	昭和24年度		
	薬学部									
	薬学科	6	100	—	600	学士（薬学）	0.96	平成18年度	千葉県野田市山崎2641番地	
	生命創薬科学科	4	100	—	400	学士（薬科学）	0.98	平成18年度		
	工学部						0.95			
	建築学科	4	110	20	500	学士（工学）	0.97	昭和37年度	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号	
	工業化学科	4	110	—	440	学士（工学）	0.99	昭和37年度		
	電気工学科	4	110	—	440	学士（工学）	0.92	昭和37年度		
	経営工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	昭和40年度		平成28年度より学生募集停止（経営工学科）
	情報工学科	4	110	—	440	学士（工学）	0.91	平成28年度		
	機械工学科	4	110	—	440	学士（工学）	0.98	昭和40年度		

	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考
既設大学等の状況	工学部第二部									
	経営工学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	昭和51年度	千葉県野田市山崎2641番地	平成28年度より学生募集停止（経営工学科）
	理工学部						0.97			
	数学科	4	120	—	480	学士（理学）	1.01	昭和42年度		
	物理学科	4	120	—	480	学士（理学）	0.93	昭和42年度		
	情報科学科	4	120	—	480	学士（理学）	0.93	昭和51年度		
	応用生物科学科	4	120	—	480	学士（理学）	0.94	昭和51年度		
	建築学科	4	120	—	480	学士（工学）	0.99	昭和42年度		
	先端化学科	4	120	—	480	学士（工学）	0.94	昭和42年度		
	電気電子情報工学科	4	160	—	640	学士（工学）	0.95	昭和42年度		
	経営工学科	4	120	—	480	学士（工学）	0.96	昭和42年度		
	機械工学科	4	120	—	480	学士（工学）	1.01	昭和42年度		
	土木工学科	4	120	—	480	学士（工学）	1.00	昭和50年度		
	先進工学部						0.91			
	電子システム工学科	4	120	—	480	学士（工学）	0.90	昭和62年度	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号	
	マテリアル創成工学科	4	120	—	480	学士（工学）	0.94	昭和62年度		
	生命システム工学科	4	120	—	480	学士（工学）	0.90	昭和62年度		
	経営学部						0.96			
	経営学科	4	180	—	1,000	学士（経営学）	0.92	平成5年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	令和3年度入学定員減（△140人） 令和3年度入学定員増（20人）
	ビジネスエコノミクス学科	4	180	—	680	学士（経営学）	0.94	平成28年度		
国際デザイン経営学科	4	120	—	240	学士（経営学）	1.20	令和3年度			

(1年次)  
北海道山越郡長万部町字富野102番地1  
(2～4年次)  
東京都新宿区神楽坂一丁目3番地

大学等の名称	東京理科大学大学院									
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考	
既設大学の状況	理学研究科 (修士課程)					1.10				
	数学専攻	2	15	—	30	修士(理学)	1.43	昭和33年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	
	物理学専攻	2	50	—	100	修士(理学)	0.94	昭和33年度	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号	
	化学専攻	2	120	—	240	修士(理学)	1.14	平成29年度		
	応用数学専攻	2	25	—	50	修士(理学)	1.44	平成21年度		
	応用物理学専攻	2	40	—	80	修士(理学)	1.30	平成21年度	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号	
	科学教育専攻 (博士後期課程)	2	40	—	80	修士(学術)	0.62	平成29年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	
	数学専攻	3	3	—	9	博士(理学)	1.44	昭和36年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	
	物理学専攻	3	5	—	15	博士(理学)	1.93	昭和36年度	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号	
	化学専攻	3	4	—	12	博士(理学)	1.25	平成29年度		
	応用数学専攻	3	3	—	9	博士(理学)	0.77	平成21年度		
	応用物理学専攻	3	3	—	9	博士(理学)	0.88	平成21年度	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号	
	科学教育専攻	3	3	—	9	博士(理学)又は博士(学術)	1.55	平成29年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	
	科学教育研究科 (博士後期課程)									
	科学教育専攻	3	—	—	—	博士(理学)又は博士(学術)	—	平成23年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	平成29年度より学生募集停止(科学教育専攻博士後期課程)
	薬学研究科 (修士課程)									
	薬科学専攻 (博士課程)	2	90	—	180	修士(薬科学)	0.82	平成22年度	千葉県野田市山崎2641番地	
	薬学専攻 (博士後期課程)	4	5	—	20	博士(薬学)	0.75	平成24年度	千葉県野田市山崎2641番地	
薬科学専攻	3	5	—	15	博士(薬科学)	1.80	平成24年度	千葉県野田市山崎2641番地		

	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考
既 設 大 学 等 の 状 況	工学研究科 (修士課程)						0.91			
	建築学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	1.02	昭和41年度	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号	
	工業化学専攻	2	60	—	120	修士(工学)	1.18	平成29年度		令和3年度入学定員増(10人)
	電気工学専攻	2	70	—	140	修士(工学)	0.85	昭和41年度		
	情報工学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	0.54	令和2年度		
	機械工学専攻	2	60	—	120	修士(工学)	0.97	昭和58年度		
	(博士後期課程)						0.56			
	建築学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	1.44	昭和58年度	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号	
	工業化学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.33	平成29年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	
	電気工学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.44	昭和58年度	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号	
	経営工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	昭和60年度		平成31年度より学生募集停止 (経営工学専攻博士後期課程)
	情報工学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.66	令和2年度		
	機械工学専攻	3	5	—	15	博士(工学)	0.20	昭和60年度		
	理工学研究科 (修士課程)						1.17			
	数学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	2.35	昭和47年度	千葉県野田市山崎2641番地	
	物理学専攻	2	30	—	60	修士(理学)	1.11	昭和47年度		
	情報科学専攻	2	40	—	80	修士(理学)	1.23	昭和55年度		
	応用生物科学専攻	2	60	—	120	修士(理学)	0.91	昭和55年度		
	建築学専攻	2	60	—	120	修士(工学)	1.35	昭和47年度		
	先端化学専攻	2	70	—	140	修士(工学)	1.04	昭和47年度		
	電気工学専攻	2	80	—	140	修士(工学)	1.43	昭和47年度		
	経営工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.33	昭和47年度		
	機械工学専攻	2	60	—	120	修士(工学)	1.20	昭和47年度		
土木工学専攻	2	30	—	60	修士(工学)	1.23	昭和54年度			
国際火災科学専攻	2	28	—	56	修士(工学)	0.35	平成30年度		令和4年度入学定員増(20人)	

	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考	
既設大学の状況	(博士後期課程)						0.75				
	数学専攻	3	3	—	9	博士(理学)	0.22	昭和49年度	千葉県野田市山崎2641番地		
	物理学専攻	3	3	—	9	博士(理学)	0.77	昭和49年度			
	情報科学専攻	3	4	—	12	博士(理学)	0.33	昭和57年度			
	応用生物科学専攻	3	4	—	12	博士(理学)	0.91	昭和57年度			
	建築学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	1.10	昭和49年度			
	先端化学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.99	昭和49年度			
	電気工学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	1.11	昭和49年度			
	経営工学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.22	昭和49年度		千葉県野田市山崎2641番地	
	機械工学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	1.33	昭和49年度			
	土木工学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.77	昭和54年度			
	国際火災科学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.55	平成30年度			
	先進工学研究科 (修士課程)							1.07			
	電子システム工学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	0.86	平成3年度	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号		
	マテリアル創成工学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	1.19	平成3年度			
	生命システム工学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	1.18	平成3年度			
	(博士後期課程)							0.14			
	電子システム工学専攻	3	6	—	18	博士(工学)	0.05	平成5年度	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号		
	マテリアル創成工学専攻	3	6	—	18	博士(工学)	0.10	平成5年度			
	生命システム工学専攻	3	6	—	18	博士(工学)	0.27	平成5年度			
	経営学研究科 (修士課程)										
	経営学専攻	2	20	—	40	修士(経営学)	0.75	平成9年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地		
	(博士後期課程)										
経営学専攻	3	5	—	15	博士(経営学)	0.33	平成30年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地			
(専門職学位課程)											
技術経営専攻	2	80	—	160	技術経営修士(専門職)	0.52	平成30年度	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地			

既設 大 学 等 の 状 況	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	備 考
	生命科学研究所 (修士課程)									
	生命科学専攻 (博士後期課程)	2	15	—	30	修士(理学)	0.99	平成9 年度	千葉県野田市山崎 2641番地	
生命科学専攻	3	5	—	15	博士(理学)	0.86	平成11 年度	千葉県野田市山崎 2641番地		
附属施設の概要		名 称 : 薬草園 目 的 : 国内外の薬用植物への理解を深めるため 所 在 地 : 千葉県野田市山崎字東亀山 2666番地 1 設置年月日 : 昭和40年3月20日 (平成19年3月20日移設) 規 模 : 2,500㎡								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。



## 教育課程等の概要

(先進工学研究科 物理工学専攻 [修士課程])

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般教養科目	計算機設計特論	1・2後		2		○									兼1	隔年
	プロセッサアーキテクチャ特論	1・2後		2		○									兼1	隔年
	キャリアデザイン考究	1・2前		2		○									兼1	
	科学技術研究の倫理	1・2前後		2		○									兼1	
	イノベーション・チーム・ラボ	1・2後		2		○									兼1	
	国際政治特論	1・2後		2		○									兼1	
	現代物理学特論	1・2前		2		○									兼1	
	物理学から見る理学の世界1	1・2前		1		○			1							隔年(3年毎)
	物理学から見る理学の世界2	1・2後		1		○			1							隔年(3年毎)
	物理学から見る理学の最前線1	1・2前		1		○			1							隔年(3年毎)
	物理学から見る理学の最前線2	1・2後		1		○			1							隔年(3年毎)
	物理学から見る理学の未来1	1・2前		1		○			1							隔年(3年毎)
	物理学から見る理学の未来2	1・2後		1		○			1							隔年(3年毎)
	実践的リーダーシップを学ぶ	1・2前		2		○									兼2	オムニバス
	科学技術社会特論	1・2後		2		○									兼1	
	倫理学対話	1・2前後		2		○									兼1	
	現代東アジア特論	1・2後		2		○									兼1	
	社会病理特論	1・2後		2		○									兼1	
	表現文化特論	1・2後		2		○									兼1	
	学術英語演習	1・2前後		2			○								兼1	
応用言語学特論	1・2前後		2		○									兼1		
英語圏文学・文化演習	1・2前後		2			○								兼1		
総合芸術学演習	1・2前後		2			○								兼1		
小計 (35科目)		—	0	64	0	—			2	0	0	0	0	兼30	—	
合計 (55科目)		—	16	92	0	—			6	5	0	0	0	兼31	—	
学位又は称号	修士 (工学)	学位又は学科の分野				工学関係、理学関係										
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
次の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 1 専門科目の必修科目16単位および選択科目10単位と、一般教養科目4単位を含め30単位以上を修得すること。 2 一般教養科目は選択必修科目から2単位以上修得すること。 3 修了所要単位に含めることができる一般教養科目の単位数の上限は4単位とする。  なお、一般教養科目の選択必修科目は以下のとおり。 物理学から見る理学の世界1、物理学から見る理学の世界2、物理学から見る理学の最前線1、物理学から見る理学の最前線2、物理学から見る理学の未来1、物理学から見る理学の未来2						1 学年の学期区分		2 学期								
						1 学期の授業期間		1 5 週								
						1 時限の授業時間		9 0 分								



## 教 育 課 程 等 の 概 要

(先進工学研究科 物理工学専攻 [博士後期課程])

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
一般教養科目	(教養(共通))	社会病理特論	1・2後		2		○									兼1	
		表現文化特論	1・2後		2		○									兼1	
		学術英語演習	1・2前後		2			○								兼1	
		応用言語学特論	1・2前後		2		○									兼1	
		英語圏文学・文化演習	1・2前後		2			○								兼1	
		総合芸術学演習	1・2前後		2			○								兼1	
		小計 (35科目)	—	0	64	0	—			2	0	0	0	0	0	兼30	—
合計 (38科目)		—	30	64	0	—		5	5	0	0	0	0	兼30	—		
学位又は称号		博士 (工学)		学位又は学科の分野			工学関係、理学関係										
卒業要件及び履修方法							授業期間等										
次の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 1 専門科目の必修科目30単位および一般教養科目4単位を含め34単位以上を修得すること。 2 修了所要単位に含めることができる一般教養科目の単位数の上限は4単位とする。							1 学年の学期区分			2 学期							
							1 学期の授業期間			1 5 週							
							1 時限の授業時間			9 0 分							

## 設置の趣旨等を記載した書類(抜粋版)

### 1. 設置の趣旨及び必要性

#### (1) 先進工学研究科物理工学専攻を設置する理由・必要性

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が令和3年3月に報告している「SDGs 達成に向けた科学技術イノベーションの実践」において、グローバルな取り組みである SDGs の達成に向けた科学技術イノベーションの役割と推進方法について報告している。その中には、平成27年9月、国連総会にて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、17のゴール(目標)からなる持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)に向けた取り組みが始まったこと、SDGsが目指すのは、資源が環境を消費する開発から、地球環境の保全・人々の基本的人権・経済的繁栄・平和・連携という人類共通の価値を実現する開発への転換でありSDGsは、すべての国々に適用される普遍的かつ包括的な目標であることから、これまでにSDGsの達成に向けた様々な仕組みが世界的に活発になっていること、SDGsにおいて科学技術イノベーションは必要不可欠であり、国連の議論においても当初からその重要性が認識されていることが述べられている。中でも特にSDGsの達成には多様な先端科学技術が貢献するとされ、その例として、環境・エネルギー、デジタルテクノロジー、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー・量子技術、デジタル統合技術がそれらの具体的な課題とともに挙げられている<資料1:SDGs達成に向けた科学技術イノベーションの実践 図2.2>。これを受け本学では、これらの課題を解決できる高度かつ専門性の高い知識と技術を身に付けて社会に貢献できる人材を育成することが急務であると考え、SDGs達成のために必要とされる科学技術の内容と一致する物理工学専攻を、既存の理学研究科応用物理学専攻を改組し、先進工学研究科に設置することとした。物理工学専攻では、物質の性質を探究する「物質科学系」、複雑現象を解析する「複雑科学系」、エネルギーに関連する現象に取り組む「エネルギー科学系」、ナノの視点からデバイス創成を目指す「ナノデバイス系」という4つの系からのアプローチで、研究分野を開拓する。なかでも密接に関連する例を挙げると、「環境・エネルギー」の高効率再生可能エネルギー、水素発生・貯蔵・運搬技術、「ナノテクノロジー・量子技術」のIoT/AI素子・ウェアラブル素子、希少資源代替技術、新触媒・多孔性材料、量子技術/量子コンピュータなどがあることから、SDGs達成の取組みに対し大きく社会に貢献できる人材が育成できると考えている。

また、物理工学専攻を、理学研究科応用物理学専攻を改組し先進工学研究科に設置することにより、先進工学研究科は、電子システム工学専攻、マテリアル創成工学専攻、生命システム工学専攻、物理工学専攻の4専攻体制となる。物理工学専攻の教育研究は基礎物理およびその工学的応用に関する分野の垣根を超えたものであるため、先進工学

研究科は、『基礎科学領域（数学、物理学、化学、生物学）』と『先進工学領域（電子工学、材料工学、生物工学、機械工学、情報工学）』についての研究分野の壁を越えた融合領域の研究推進の加速が可能となる。

なお、物理工学専攻の設置と同時に、理学部第一部応用物理学科を改組し、先進工学部物理工学科を設置する。物理工学科で学んだ内容について、今回、設置する物理工学専攻に進学し、さらに学ぶことにより高度かつ専門性の高い知識と技術を身につけて社会に貢献できる人材を育成することが可能となる。

## （２）物理工学専攻で養成する人材像及び身に付けさせる能力等の教育上の目的

物理工学専攻では、修士課程においては、基礎物理及びその工学的応用に関する分野の垣根を越えた教育研究を行うことで、社会を変革するイノベーション創出に貢献でき、社会的倫理観、国際的視野、そして新しい学問及び産業の芽を興すことに挑戦する高い志を持った研究者・技術者を育成する。

博士後期課程においては、基礎物理及びその工学的応用に関する分野の垣根を越えた高度な教育研究を行うことで、社会を変革するイノベーション創出を主体的に行うことができ、社会的・国際的に高い指導的立ち位置から、新しい学問及び産業を興すことのできる研究者・技術者を育成する。

なお、物理工学専攻は、上記の人材を育成することを目的に以下の知識・能力を身に付けることを「修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で定めている。

### 【修了認定・学位授与の方針】

1. 修士課程においては、「物理学の専門知識を基盤として、社会を変革するイノベーションをもたらす新原理・新技術・新概念の追求を行うことのできる、人類の発展に貢献する人材を育成する」ことを目的として、以下の知識・能力を身に付け、物理工学専攻で定める所定の単位を修得し、かつ、修士の学位論文の審査および試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士(工学)の学位を授与する。

- (1)物理学の基礎あるいはその応用分野において高度な専門的学識・研究能力と教養をもとに、論理的・批判的に思考し、その分野の諸問題を解決できる能力
- (2)物理学の重要性と応用の可能性を認識し、これを人間性豊かな教養と高い倫理観に基づいて社会に普及、教授できる能力
- (3)専門分野及び関連する分野における諸問題に対処することができるような、国際的な視点と対話能力

2. 博士後期課程においては、「物理学の高度な専門知識を基盤として、研究者として独創的・創造的な研究活動を行い、社会を変革するイノベーションをもたらす新原理・

新技術・新概念を主体的に開拓することのできる人材を育成する」ことを目的として、以下の知識・能力を身に付け、物理工学専攻で定める所定の単位を修得し、かつ、博士の学位論文の審査、試験、学力確認のための試問に合格した学生に対して修了を認定し、博士(工学)の学位を授与する。

- (1) 高度で深い専門的知識と自立的な研究能力を持つことで、その専門分野において自ら問題を発見あるいは設定し、これを独創的な研究能力によって解決し、イノベーションを創出しようとする能力。さらには、その専門分野における研究者や専門的職業人を指導する能力
- (2) 物理学とその応用分野の成果を普及・教授できるとともに、科学・技術一般に対して客観的に評価できるような、高い倫理観に基づく総合的な視点とコミュニケーション能力。さらに、高度な専門的能力を持つ職業人としてリーダーシップを発揮し、新たな産業の芽を興すことに挑戦することや、持続可能な社会の構築に貢献する能力
- (3) 専門分野及び関連する広い分野における国際的な課題に率先して対処することができるような、国際的な視点と対話能力

修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)と教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)との相関を<資料2-1><資料2-2>示す。

### (3) 修了後の進路・経済社会の人材需要の見通し

修了後の進路は、情報通信産業、電子部品、その他製造業分野等における技術・開発職、情報関係、研究職が見込まれる。物理工学専攻設置にあたり、改組を行う理学研究科応用物理学専攻において、修了後の進路として、情報通信産業、電子部品、その他製造業分野等の業種に卒業生の90%以上が就職している実績がある<資料3>。これは、専攻で学んだ物理学の基礎知識とそれを応用する力、論理的思考能力を兼ね備えた人材が、これらの業界の企業から求められていることを示している。

現在、世界的にSGDsの達成が共通目的とされており、その達成のために科学技術イノベーションが重要とされる中、物理工学専攻が掲げる「物理学の専門知識を基盤として、社会を変革するイノベーションをもたらす新原理・新技術・新概念の追求を行うことのできる、人類の発展に貢献する人材を育成する」という理念は、産業界が目指す方向性に沿ったものである。これまでの理学研究科応用物理学専攻での実績や、現在、そしてこれからのグローバルな視点や産業界が進む方向性を鑑みて、物理工学を学んだ人材の需要は高く、物理工学専攻の卒業生は社会から強く求められていくと言える。

#### (4) 研究対象とする中心的な学問分野

理工学専攻では、物質の性質を探究する「物質科学系」、複雑現象を解析する「複雑科学系」、エネルギーに関連する現象に取り組む「エネルギー科学系」、ナノの視点からデバイス創成を目指す「ナノデバイス系」という4つの系からのアプローチで、研究分野を開拓する。研究対象となる学問分野は工学系分野と理学系分野を含有しており、それぞれの専門分野でのエキスパートが協力しあうことで、幅広い視点で社会を見つめながら、イノベーション創出を目指した研究に取り組む。

##### ①物質科学系

物質が持つ新しい性質を探求する。光電子分光、核磁気共鳴、レーザー分光などの手法によって、物質中の電子エネルギー、スピン、格子振動やそれらのダイナミクスを捉えることで、伝導性・磁性・誘電特性・光学特性などを明らかにしていく。さらに量子物性理論によって、新しい物理現象の発現を見出していく。

##### ②複雑科学系

複雑現象を解析する。脳神経科学において人の認知過程を先端的な物理的計測やニューラルネットワークのモデリングによって解明していく。また、生物の集団行動や分子の運動などを非平衡の散逸構造の観点から解析する。

##### ③エネルギー科学系

エネルギーに関連する現象の解明やデバイスの開発を行う。エネルギー問題に寄与する室温超伝導体や高機能性材料を開発する。また有機材料の物性を理解し、発電素子やセンサへの応用研究を行う。幅広い物質を研究対象として、物性の理解から省エネルギー化を担う物質材料を提案していく。

##### ④ナノデバイス系

ナノの視点からデバイス創成を目指す。電子・イオンの挙動を活用した脳型メモリやスマート燃料電池の研究、固体・液体及びそれらの界面から生じる現象を活用した記憶・学習デバイス、誘電分極を利用した情報素子の開発を行う。ナノスケールで生じる電子やイオンの挙動を活用した次世代デバイスを創成する。

## 2. 専攻の名称及び学位の名称

### (1) 専攻の名称及び学位の名称

理工学専攻は、修士課程及び博士後期課程を同時に設置する。理工学専攻は、基礎となる学科である先進工学部理工学科(理工学専攻の設置と同時に理学部第一部

応用物理学科を改組する。)との連続したカリキュラムのもと、物理学の知識と理解を深め、物理学を社会に役立てる手法を具体的に提案、実行できる能力を身に付ける。よって、専攻名は「物理工学専攻」とし、学位に付記する分野の名称は「工学」とする。専攻名称及び授与する学位に付記する名称は、教育課程、教育研究分野等の専攻分野に照らして次のとおりとする。

研究科の名称：先進工学研究科 (Graduate School of Advanced Engineering)

専攻の名称　：物理工学専攻 (修士) : Department of Applied Physics (M)

物理工学専攻 (博士) : Department of Applied Physics (D)

学位の名称　：修士 (工学) : Master of Engineering

博士 (工学) : Doctor of Engineering

以上